

環境経営レポート

【レポートの対象期間：2023年1月～12月】

有限会社竹内工作所

《ご挨拶》

有限会社竹内工作所は1968年創業以来、精密板金加工業として歩んでまいりました。近年、産業構造が大きく変わりつつも一貫した精密板金部品製造業として信頼される企業を目指しております。

また、企業活動に伴う環境負荷を把握・評価して、経営上取組の対象とすべき環境負荷を特定することは、適切な環境への取組を行う為の第一歩です。次項の環境方針を基に環境活動を展開し、地球環境に優しい企業として環境への配慮も企業活動の大きな役割として捉え新たな動きを始めました。

以下、【環境経営レポート】としての取組をまとめましたので、私たちの取組をご高覧の上、ご指導、ご指摘をいただき次の環境活動に生かして行きたいと存じます。

有限会社 竹内工作所
代表取締役社長
竹内 順

《目次》

1. 環境経営方針	P-1
2. 事業活動の規模	P-2
3. EA21推進体制	P-3
4. 環境経営目標とその実績	P-4
5. 環境経営計画の取組と評価	P-5
6. 環境関連法規制の遵守	P-6
7. 代表者による全体の評価と見直し・指示	P-6

1. 環境経営方針

環境理念

当社は地球環境の保全が社会共通の重要課題であることを認識し、環境に配慮した企業活動を行い、より豊かな社会の発展に貢献する。

活動方針

【1】当社の事業内容 精密板金部品 プログラム・加工・製作までの各領域において、事業活動によって生じる環境負荷の低減及び、資源の有効活用に努め、特に次の項目を重点に取り組みます。

- ① 二酸化炭素排出量削減の為、使用電力削減・使用化石燃料削減・廃棄物の焼却の削減に努めます。
- ② 事業活動で発生する廃棄物は、発生を抑制すると共に再使用の向上に努めます。
- ③ 排水量の削減に努めます。
- ④ 事業活動において、環境に関わる法律・規制その他公的基準を遵守します。
- ⑤ 環境志向の職場を作ります。

【2】全従業員による推進体制を構築し、継続的な改善に取り組みます。

【3】この環境経営方針は、全従業員に周知、徹底に取り組みます。

2019年10月1日
有限会社 竹内工作所
代表取締役社長
竹内 順

2. 事業活動の規模

1. 事業所及び代表者名

有限会社 竹内工作所
代表取締役社長 竹内 順

2. 所在地

〒369-1503 埼玉県秩父市下吉田4805

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 代表取締役社長 竹内 順
環境管理責任者 : 出浦 淳也
担当 : E A 2 1 事務局 出浦 淳也
TEL : 0494-77-0986
FAX : 0494-77-1581

4. 対象範囲

有限会社 竹内工作所 全組織及び全活動

5. 事業の内容

精密板金部品の加工及び製造

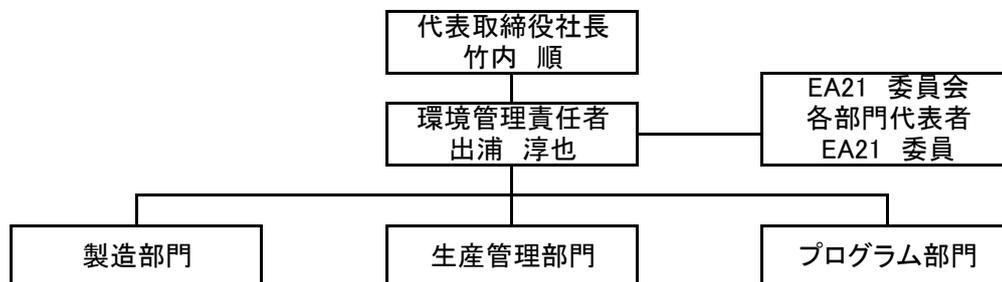
6. 事業規模

活動規模	単位	2022年 (2022年1月から12月)	2023年 (2023年1月から12月)
従業員数	人	15	13
延べ床面積	m ²	523	523

3. エコアクション21 推進組織図

2019年9月25日作成

承認	作成
竹内	出浦



氏名	所属	役割・責任
竹内 順	代表者 代表取締役社長	全体の統括、環境方針の設定、環境への取組をする為の全体の評価と準備。
出浦 淳也	環境管理責任者	組織全体の把握及び、環境経営システムの構築・運用。
EA21推進委員	EA21 事務局	EA21 文書及び記録類の作成・維持
磯田 隆	製造部門	製品不良率削減の管理、他サポート
岩崎 康夫	製造部門	車燃料(ガソリン、軽油)消費量管理
高橋 栄子	生産管理部門	廃棄物排出量の管理
垣塚 顕	プログラム部門	電力使用量の管理、水使用量の管理
大塚 祐児	プログラム部門	全サポート

4. 環境経営目標とその実績

2023年1月～2023年12月迄の目標を下記の通り定め活動しました。

1. 環境目標とその実績

環境目標	基準値	今年度目標				次年度及び 中長期の目標	
	2022年度	2023年		2024年度	2025年度		
	実績	目標	目標値	実績	達成状況	目標	目標
①売上高100万円当たりの二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂ /百万円)	960.3	2022年実績に対して1%削減	950.7	868.9	基準に対して-9.5%削減	2022年実績に対して2%削減	2022年実績に対して3%削減
②売上高100万円当たりの廃棄物排出量の削減 (kg/百万円)	33.9	2022年実績に対して1%削減	33.6	27.7	基準に対して-18.2%削減	2022年実績に対して2%削減	2022年実績に対して3%削減
③売上高100万円当たりの水資源投入量の削減 (m ³)	2.6	2022年実績に対して1%削減	2.6	2.2	基準に対して-13.1%削減	2022年実績に対して2%削減	2022年実績に対して3%削減
④化学物質の削減	現状把握	管理の徹底	—	管理の徹底	取扱量の管理ができた	管理の徹底	管理の徹底
⑤本業に関する目標：不良件数の削減	不良件数10件	2022年の不良件数10件以下	—	不良件数6件	基準に対して不良件数が4件減少した(6件)	2022年の不良件数10件以下	2022年の不良件数10件以下

*購入電力の排出係数は、0.457kg-CO₂/kWh 東京電力エナジーパートナー(株)を使用しています。R4年度実績 R5.12.22環境省・経産省公表

2. 主な環境負荷実績 (総量)

環境への負荷	2022年	2023年
①二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	124,839	118,430
②廃棄物排出量 (kg)	3,636	3,389
③水資源投入量 (m ³)	336	306

5. 環境経営計画の取組みと評価

対象期間：2022年1月～12月

環境経営計画	環境経営計画の取組結果とその評価
1. 二酸化炭素排出量の削減 ①照明不要時のOFFの推進 ②エアコン清掃の実施 ③エコドライブ推進 ④社用車の点検・整備	基準値に対して9.5%削減し目標達成しました。仕事の効率改善と売上高の増加が削減につながりました。
	次年度の取組内容
	仕事の効率を上げると共に細やかな節電やエコドライブを継続する。
2. 廃棄物排出量の削減 ①分別ルール徹底 ②廃棄物置場の整備 ③産廃業者との契約書の確認 ④裏紙使用ルールの徹底	廃棄物の総排出量は18.2%削減し、目標達成しました。特に一般廃棄物は、新聞紙、厚紙等を梱包材として再利用したので49.4%削減出来ました。
	次年度の取組内容
	分別ルールを徹底する。新聞紙、厚紙等を梱包材としての再利用と裏紙使用を継続する。
3. 水資源投入量の削減 ①毎月のメータの確認(漏水防止) ②節水表示(手洗い場・トイレ) ③トイレの節水	水資源投入量の13.1%の削減となり目標達成しました。エコアクション21の活動を行い、会社全体での節水意識が向上したと思います。
	次年度の取組内容
	日常的に全社員による節水意識を継続する。
5. 化学物質の削減 ①取扱商品(化学物質含有)の把握 ②購入量の把握 ③SDSの入手	当社では化学物質の使用していない。
	次年度の取組内容
	新規の化学物質(SDSにて)の使用が無い事を管理する。
6. 本業に関する目標 ①不良件数の把握	基準の不良件数10件に対して不良件数が6件となり4件減少した
	次年度の取組内容
	引き続き工程管理を行い不良件数削減に取り組む。

6. 環境関連法規制の遵守

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	要求事項	遵守状況
浄化槽法	点検の遵守	遵法
廃棄物処理法	保管場所の整備・マニフェスト管理	遵法
騒音規制法	届出	遵法
振動規制法	届出	遵法
フロン排出抑制法	簡易点検・定期点検	遵法

2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2023年1月～12月の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

今後とも各環境目標の達成を前提に、引き続き活動を周知して会社全体で取り組んでいく。仕事の効率化を高め、廃棄物の削減意識（梱包材・新聞紙等の再利用等）、無駄を無くし活動していく。